

令和2年度終了課題 住宅生産技術イノベーション促進事業 技術開発等の成果報告に係る評価総括表

番号	技術開発名	構成員	実施年度	成功点	残された課題	今後の展開への助言等
1	木造屋根の耐久性・施工性向上のための防水・通気工法の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂本 雄三 (一社)き塾 理事(東大名誉教授)</li> <li>・永井 大嗣 (株)ナガイ 代表取締役社長</li> <li>・大嶋 洋一 (株)藤島建設 取締役専務</li> </ul>	令和元～2年度	屋根断熱仕様の通気層工法において、施工工数等の削減と構成部材の簡略化を行うことで、性能の高度化と施工の合理化を可能とする屋根通気用の防水層と通気層を一体化した多機能シートを開発した。	要素技術としては完成しているが、コロナ禍による素材の高騰や、施工時間の制限等から、製造コストの削減と施工のさらなる簡略化を図る等、新たな技術を市場に受け入れてもらいやすい改善等が課題となる。	本事業の主旨に照らすと、早期の実用化が重要であり、部品製造・供給等の体制整備や公的認証の取得、並びにマニュアル類の整備・公開等を進めることが求められる。 新たな部品・工法の普及にあたっては、各地での施工デモンストレーション等、工務店等に受け入れてもらうための方策も有効である。